

中国市場に挑む

―ネプコンチャイナ2012リポート―

千住金属工業／千住金属 (上海) は、「ネプコンチャイナ2012」で顧客の目的や、用途に応じた多様なんだ材料を出品した。

中国市場でも鉛フリーはんだの標準的材料として採用されてきたM705 (Sn-3Ag-0.5Cu) に代わり、顧客のニーズも低銀、無銀と多様化し、同時にコスト要求も厳しくな

低銀はんだ需要拡大
千住金属(上海)の長谷川友秀総経理は「中国市場は変化が激し

低コスト化のはんだを訴求

ネプコン展では、低銀ソルダペーストを展示の中心に据え、融点、信頼性、コストパフォーマンス全てを実現した。

長谷川総経理は「昨年のネプコン展ではM46を主力に紹介したが、今年もM40に重点を置いた。M705とプロファイルを変えないで実装でき、同等以上の作業性や信頼性が得られるので市場の評価が高く販売も伸びている。M40をさらに普及させたい」と述べる。

千住金属工業／千住金属(上海)

新しいはんだ材料の導入に対して中小ローカル企業でも、自社に技術部門や最終製品を持つているところは積極的に採用している。その中でも、コスト低減から低銀はんだの需要が広がってきた」と話す。



長谷川 総経理

M40は、従来のM705と同じプロファイルで実装でき、同等以上の性能を有するソルダペースト。M46は、さらに低価格化

の要望に添えるため0.3Agとし、M705と同程度の実装条件を確保するために、低融点化に重点をおいて開発し、同程度の実装条件で大幅なコストダウンを実現した。

長谷川総経理は「低銀はんだのコスト面だけで訴求するのは難しく、作業性や信頼性に加え、高速印刷や短時間リフローを可能とす

特徴のある製品提案

れが速くスムーズに濡れ広がる新シリーズM40-SPのように高効率生産性など、特徴のある製品を提案したい。中国市場ではある程度のシェアを確保しないと先々の動向が読めない。激しい価格競争を避けるためにも特徴ある製品で顧客のニーズに応えたい」と話している。



低銀ソルダペーストを展示の中心に据え「M40」をアピールした

(西山前特派員)